## 沖縄県における麻しん患者(検査診断例)発生状況(H30.5.28時点)

	A- #A	Art. Prof	<b>5</b> 45 145		Plantida ess			W. 4-
患者No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
1	30代	男性	台湾	不明	3月14日	3月20日	国外	初発例。3/17から沖縄本 島内を旅行
2	40代	女性	石垣市	不明	3月27日	3月29日	3/17にNo.1と接触	
3	30代	男性	中部管内	無	3月27日	3月29日	3/18にNo.1と接触	
4	20代	男性	那覇市	不明	3月26日	3月31日	3/17にNo.1と接触	
5	0歳	男児	那覇市	無	3月25日	3月31日	不明(A施設)	
6	30代	男性	那覇市	不明	3月27日	3月31日	3/17にNo.1と接触	
7	40代	男性	那覇市	不明	3月28日	3月31日	不明(A施設)	
8	6歳	男児	宜野湾市	無	3月25日	3月31日	不明(A施設)	
9	40代	男性	南城市	不明	3月26日	4月1日	不明(A施設)	
10	30代	女性	浦添市	不明	3月25日	4月1日	3/17にNo.1と接触	
11	30代	男性	糸満市	有(1回)	3月31日	4月1日	3/17にNo.1と接触	3/26に喉の痛みあり
12	20代	女性	那覇市	無	3月26日	4月1日	不明(A施設)	
13	20代	女性	名護市	無	3月28日	4月3日	不明(A施設)	
14	小学生	男児	那覇市	不明	3月28日	4月3日	調査中	
15	小学生	女児	那覇市	有(2回)	3月30日	4月3日	不明(A施設)	
16	20代	女性	那覇市	不明	4月2日	4月3日	不明(A施設)	
17	高校生	男性	宜野湾市	有(2回)	3月30日	4月3日	不明	
18	30代	男性	うるま市	不明	3月31日	4月3日	不明	
19	40代	男性	南部管内	不明	3月28日	4月4日	不明(A施設)	
20	20代	男性	名護市	不明	4月1日	4月4日	調査中	
21	40代	男性	名護市	不明	4月2日	4月4日	調査中	
22	1歳	男児	那覇市	有(1回)	4月3日	4月5日	3/17にNo.1と接触	
23	20代	男性	北部管内	不明	3月30日	4月5日	調査中	
24	50代	女性	那覇市	不明	3月27日	4月5日	不明(A施設)	
25	40代	女性	那覇市	不明	3月31日	4月5日	3/17にNo.1と接触	
26	30代	男性	那覇市	不明	3月29日	4月5日	調査中	
27	30代	女性	名護市	有(1回)	3月30日	4月6日	調査中	
28	中学生	男性	名護市	不明	4月2日	4月6日	調査中	
29	10代	男性	名護市	有(2回)	4月4日	4月6日	調査中	
30	30代	男性	名護市	不明	4月1日	4月6日	調査中	
31	40代	女性	那覇市	不明	3月30日	4月6日	調査中	

患者No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
32	3歳	女児	宜野湾市	無	4月2日	4月7日	家族内感染	
33	小学生	男児	宜野湾市	無	4月4日	4月7日	家族内感染	
34	6歳	女児	那覇市	無	4月6日	4月8日	家族内感染	
35	30代	男性	那覇市	有(1回)	4月4日	4月9日	職場内感染	
36	3歳	女児	那覇市	無	4月7日	4月10日	家族内感染	
37	20代	男性	中部管内	不明	4月6日	4月10日	患者と接触の可能性	
38	0歳	男児	名護市	無	4月7日	4月10日	調査中	
39	50代	女性	浦添市	不明	4月7日	4月12日	調査中	
40	20代	女性	那覇市	不明	4月9日	4月12日	家族内感染	
41	20代	男性	那覇市	有(1回)	4月7日	4月12日	職場内感染	
42	中学生	男性	南城市	有(2回)	4月10日	4月12日	患者との接触あり	
43	小学生	男児	南城市	有(2回)	4月8日	4月12日	患者との接触あり	
44	20代	女性	那覇市	不明	4月6日	4月13日	調査中	
45	40代	女性	豊見城市	不明	4月9日	4月13日	職場内感染	
46	5歳	男児	名護市	無	4月9日	4月13日	調査中	
47	30代	女性	浦添市	不明	4月7日	4月14日	調査中	
48	30代	男性	うるま市	有(2回)	4月8日	4月14日	院内で患者との接触あり	
49	30代	女性	うるま市	有(1回)	4月12日	4月14日	院内で患者との接触あり	
50	40代	女性	中部管内	有(1回)	4月12日	4月14日	職場内感染	
51	30代	女性	那覇市	有(1回)	4月9日	4月14日	調査中	
52	50代	男性	那覇市	不明	4月9日	4月14日	職場内感染	
53	30代	女性	浦添市	不明	4月9日	4月16日	職場内感染	
54	30代	男性	南部管内	不明	4月11日	4月16日	患者との接触あり	
55	20代	男性	糸満市	不明	4月11日	4月16日	院内で患者との接触あり	
56	0歳	女児	宜野湾市	無	4月14日	4月16日	院内で患者との接触あり	
57	30代	女性	沖縄市	不明	4月11日	4月17日	調査中	
58	30代	男性	那覇市	不明	4月11日	4月17日	職場内感染	
59	ワクチン株由来のため、取下げします(欠番)							
60	30代	女性	うるま市	有(1回)	4月13日	4月17日	調査中	
61	中学生	男性	名護市	不明	4月11日	4月17日	患者との接触あり	
62	20代	女性	北部管内	有(1回)	4月12日	4月17日	調査中	
63	30代	女性	名護市	不明	4月11日	4月17日	調査中	

患者No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
64	30代	男性	那覇市	有(3回)	4月12日	4月18日	院内で患者との接触あり	3回目の予防接種は、 患者との接触5日後の もの
65	30代	女性	那覇市	有(1回)	4月16日	4月18日	患者との接触あり	
66	20代	女性	那覇市	有(回数不明)	不明	4月20日	調査中	
67	中学生	女性	中部管内	不明	4月17日	4月20日	調査中	
68	20代	女性	中部管内	有(1回)	4月15日	4月21日	調査中	
69	中学生	男性	中部管内	不明	4月15日	4月21日	調査中	
70	20代	男性	名護市	有(回数不明)	4月14日	4月21日	調査中	
71	40代	男性	沖縄市	不明	4月16日	4月21日	職場内感染	
72	30代	男性	宮古島市	無	4月20日	4月25日	調査中	
73	30代	男性	沖縄市	有(1回)	4月20日	4月26日	院内で患者との接触あり	
74	30代	女性	名護市	不明	4月25日	4月26日	職場内感染の疑い	
75	20代	男性	宜野湾市	有(1回)	4月24日	4月26日	患者との接触あり	
76	20代	男性	名護市	不明	不明	4月13日	調査中	医療機関の検査で確認
77	40代	男性	南部管内	無	4月17日	4月27日	調査中	
78	30代	男性	名護市	有(1回)	4月25日	4月30日	調査中	
79	50代	男性	那覇市	不明	4月28日	4月30日	調査中	
80	20代	男性	うるま市	調査中	4月22日	4月30日	調査中	
81	30代	男性	南部管内	不明	4月22日	4月30日	調査中	
82	40代	男性	那覇市	不明	4月25日	4月30日	調査中	
83	20代	男性	南部管内	有(2回)	4月27日	4月30日	調査中	
84	30代	男性	糸満市	調査中	調査中	5月1日	調査中	
85	1歳	男性	名護市	無	4月21日	5月1日	患者との接触あり	
86	40代	女性	名護市	不明	4月25日	5月1日	家庭内感染の可能性	
87	20代	男性	名護市	不明	4月27日	5月2日	職場内感染の疑い	
88	20代	女性	浦添市	有(2回)	4月26日	5月2日	調査中	
89	30代	女性	宮古島市	不明	4月30日	5月2日	患者との接触あり	
90	20代	女性	名護市	有(1回)	調査中	5月3日	家族内感染の可能性	5/2発疹有
91	4歳	女児	うるま市	有(1回)	調査中	5月1日	調査中	医療機関の検査で確認
92	20代	男性	南部管内	不明	4月24日	5月8日	調査中	
93	30代	男性	那覇市	不明	5月2日	5月8日	調査中	
94	0歳	女児	うるま市	無	5月1日	5月9日	患者との接触あり	
95	4歳	男児	うるま市	無	5月1日	5月9日	患者との接触あり	

患者No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
96	1歳	女児	北部管内	有(1回)	4月20日	4月28日	調査中	医療機関の検査で確認
97	1歳	男児	沖縄市	有(1回)	4月28日	5月10日	調査中	医療機関の検査で確認
98	1歳	男児	南部管内	有(1回)	5月2日	5月11日	調査中	
99	30代	女性	うるま市	不明	5月8日	5月14日	調査中	
100	10代	男性	中部管内	有(2回)	5月10日	5月15日	調査中	

## 今回、新たに追加された感染者及び情報

## 修飾麻しんと診断された症例

麻しんに対する免疫を不十分ながら有するものの、感染を防げず、発症した場合に、修飾麻しんとなります。 修飾麻しんは、典型的な麻しんと比べて軽症であり、周囲への感染力も弱いとされています。 なお、これ以外の症例には、現在、調査中などの理由で、典型的あるいは修飾麻しんの分類に至っていない患者が含まれます。

- ・平成30年5月28日は4名分を検査し、新たな麻しん患者は確認されませんでした。
  ・患者No.1が確認されて以降、5月28日までに、561名分の検査を実施し、うち99名が麻しんと確認されました。
  (患者数には医療機関で確認された4名を含みます)
- ※患者No.59について、4月20日に再検査したところ、ワクチン株由来であると判明しましたので取り下げました。 (No.59は欠番となります。)
- ※米軍より、基地内で患者が1名発生したとの直接の情報提供がありました(患者数には含めていません)。